

PAT-NO: JP408056737A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08056737 A
TITLE: HAIR DYE APPLICATION DEVICE
PUBN-DATE: March 5, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
KAWASE, JIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAO CORP	N/A

APPL-NO: JP06199789

APPL-DATE: August 24, 1994

INT-CL (IPC): A45D019/02

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a hair dye application device with which dyeing of hair can easily be performed regardless of the site of the hair even in the case of dyeing the hair by oneself.

CONSTITUTION: The device is provided with a hair dye containing part 1 having a comb part 11, and a handle part 2 installed on the hair dye containing part 1 and having holding surfaces 21, 21. This holding part 21 is installed on the hair dye containing part 1 through an installation member 3, where this installation direction is changeable to be either of parallel disposition directions of plural comb teeth 12 forming the comb part 11, and the handle part 2 is fixed in such a way that the holding surfaces 21, 21 form a specified

angle within a range of 30°:-90° to a comb teeth surface 13 of
the comb
part 11.

COPYRIGHT: (C)1996, JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-56737

(43)公開日 平成8年(1996)3月5日

(51)Int.Cl.⁹

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

A 45 D 19/02

B

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全5頁)

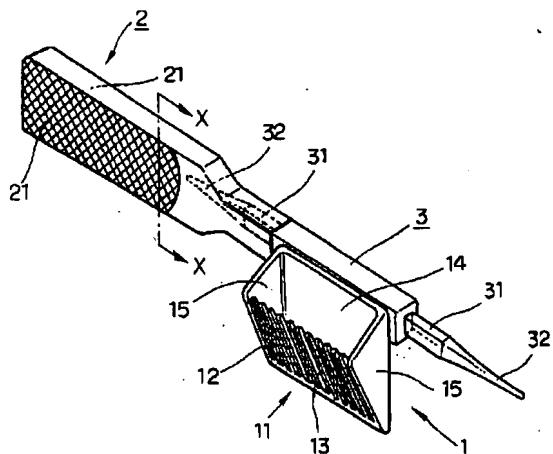
(21)出願番号	特願平6-199789	(71)出願人	000000918 花王株式会社 東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号
(22)出願日	平成6年(1994)8月24日	(72)発明者	川瀬 次朗 東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社 社香粧品研究所内

(54)【発明の名称】 染毛料塗布用具

(57)【要約】

【目的】 一人で染毛する場合でも、毛髪の部位に拘わらず、容易に染毛を行うことのできる染毛料塗布用具を提供すること。

【構成】 櫛部11を有する染毛料収容部1と、該染毛料収容部1に取り付けられた、把持面21、21を有する把手部2とを具備し、上記把手部2は、上記染毛料収容部1に取付部材3を介して取り付けられ、その取付方向を、上記櫛部11を形成する複数の櫛歯12の並設方向の一方及び他方の方向に変更可能であり、且つ上記把手部2は、その上記把持面21、21が上記櫛部11の櫛歯面13に対して30°～90°の範囲内の所定の角度となるように固定されることを特徴とする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 櫛部11を有する染毛料収容部1と、該染毛料収容部1に取り付けられた、把持面21、21を有する把手部2とを具備し、

上記把手部2は、上記染毛料収容部1に取付部材3を介して取り付けられ、その取付方向を、上記櫛部11を形成する複数の櫛歯12の並設方向の一方及び他方の方向に変更可能であり、且つ上記把手部2は、その上記把持面21、21が上記櫛部11の櫛歯面13に対して30°～90°の範囲内の所定の角度となるように固定されることを特徴とする染毛料塗布用具。

【請求項2】 上記取付部材3が、上記櫛歯12の並設方向に一致させて上記染毛料収容部1に取り付けられ、その両端に把手部嵌合部31、31を有しており、上記把手部2を該把手部嵌合部31、31の一端又は他端に取り付けることにより、上記把手部2の取付方向を変更可能になしてある、請求項1記載の染毛料塗布用具。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は染毛料塗布用具、詳しくは、一人で染毛する場合でも、毛髪の部位に拘わらず、容易に染毛を行うことのできる染毛料塗布用具に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の染毛料塗布用具は、図6に示される如く、櫛部11を有する染毛料収容部1と該染毛料収容部1に取り付けられた把手部2とが一体的に形成されたものであり、上記櫛部11と上記把手部2との関係は固定的な形態であった。また、染毛料塗布用具に関する従来の技術として、実公昭12-417号公報、実公昭15-4444号公報及び実開平3-7302号公報に記載のもの等が知られているが、これらの染毛料塗布用具においても、同様に櫛部と把手部との関係は固定的な形態であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 染毛料塗布用具の使用に際して、染毛料を地肌に付着させることなく且つ染毛残しを発生させずに染毛するには、染毛する部位に対して上記把手部2の取付方向を調節し、上記櫛部11の櫛歯面13に対する上記把手部2の把持面21、21の角度を最適化する必要があるが、従来の染毛料塗布用具は、上記櫛部11と上記把手部2との関係は固定的な形態で調節ができない、非常に染毛しにくいものであった。

【0004】 従って、本発明の目的は、一人で染毛する場合でも、毛髪の部位に拘わらず、容易に染毛を行うことのできる染毛料塗布用具を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 発明者は、種々検討した結果、上記染毛料収容部1に対する上記把手部2の取付

2

方向を変更可能とすると共に、上記櫛部11の上記櫛歯面13に対する上記把持面21、21の角度を特定範囲の角度とすることにより、上記目的が達成されることを知見した。本発明は、上記知見に基づいてなされたもので、櫛部11を有する染毛料収容部1と、該染毛料収容部1に取り付けられた、把持面21、21を有する把手部2とを具備し、上記把手部2は、上記染毛料収容部1に取付部材3を介して取り付けられ、その取付方向を、上記櫛部11を形成する複数の櫛歯12の並設方向の一方及び他方の方向に変更可能であり、且つ上記把手部2は、その上記把持面21、21が上記櫛部11の櫛歯面13に対して30°～90°の範囲内の所定の角度となるように固定されることを特徴とする染毛料塗布用具を提供することにより、上記目的を達成したものである。

【0006】

【作用】 本発明の染毛料塗布用具によれば、一人で染毛する場合でも、染毛されるあらゆる部位に対して、上記把手部2の取付方向を適切な方向に調節でき、上記櫛部11の上記櫛歯面13に対する上記把持面21、21の角度が最適化されているため、上記櫛部11を染毛される部位に容易且つ適切に対応させて染毛することができる。

【0007】

【実施例】 以下、本発明の染毛料塗布用具の一実施例を図面を参照して説明する。図1及び図2は、本発明の染毛料塗布用具の一実施例を示すもので、図1はその外観を示す斜視図、図2は、図1におけるX-X線矢視断面図である。

【0008】

30 本実施例の染毛料塗布用具は、図1に示される如く、櫛部11を有する染毛料収容部1と、該染毛料収容部1に取り付けられた、把持面21、21を有する把手部2とを具備している。

【0009】 而して、本実施例の染毛料塗布用具は、図1及び図2に示される如く、上記把手部2は、上記染毛料収容部1に取付部材3を介して取り付けられ、その取付方向を、上記把手部2が把手部嵌合部31、31の一端又は他端に取り付けられることにより、上記櫛部11を形成する複数の櫛歯12の並設方向の一方及び他方の方向に変更可能であり、且つ上記把手部2は、その上記把持面21、21が上記櫛部11の櫛歯面13に対して30°に固定されるようになしてある。

【0010】 本実施例について更に説明すると、上記染毛料収容部1は、図1及び図2に示される如く、上記櫛部11と、該櫛部11の上記櫛歯面13と所定角度で連設された背面板14と、該背面板14と結合する一対の側面板15、15とからなり、上記櫛部11、上記背面板14及び上記側面板15、15により囲まれる空間に染毛料を収容するようになしてある。

【0011】

上記把手部2は、図1及び図2に示される如く、全体が直方体形状であり、その表面と裏面にそれ

ぞれ平行な上記把持面21、21を有している。該把持面21、21は、格子状の滑り止め用の模様が施された平面とされている。また、上記取付部材3も、全体が直方体形状であり、その両端の面から上記把手部2が取り付けられるための把手部係合部31、31が突設され、該把手部係合部31、31が突設された面と垂直な一つの面上に上記染毛料収容部1が取り付けられている。上記把手部係合部31、31は、尖端32、32を有する嵌合突起で、該尖端32、32に近づくにつれて細くされ、該尖端32、32は丸められて染毛中に髪分け具として用いることができるようになってある。

【0012】また、図2に示される如く、複数の上記櫛歯12の隙間の下端と上記染毛料収容部1全体の下端との上記櫛歯面13沿いの高低差dは、白髪染めであるヘアカラーの場合は、毛髪の根元から染毛するという観点から2mm以下とされるのが好ましく、ファッショナルに毛髪に着色するヘアマニキュアの場合は、染毛料の地肌への付着を防止するという観点から2~5mmの範囲とされるのが好ましい。

【0013】上記実施例の染毛料塗布用具は、上述の如く構成されており、次のようにして使用される。上記把手部2の取付方向を変更するには、該把手部2を一方の上記把手部係合部31から抜き、他方の上記把手部係合部31に嵌合し直すことにより行う。この実施例の場合は、上記把手部係合部31が長方形断面を有し、その長手方向が上記把持面21、21と平行とされ且つ上記櫛部11の上記櫛歯面13に対して30°の角度を有しているようにされているため、上記把手部2を上記把手部係合部31から抜き、再度嵌合し直しても、上記櫛部11の上記櫛歯面13に対する上記把持面21、21の角度は、30°に固定されたままである。このようにして、上記把手部2の取付方向が調節でき且つ上記櫛部11の上記櫛歯面13に対する上記把持面21、21の角度が最適化されているため、上記染毛料塗布用具を使用して一人で染毛する場合でも、染毛される毛髪の部位に拘わらず、容易且つ適切に染毛を行うことができる。

【0014】次に、図3及び図4に示される本発明の他の実施例について説明する。この実施例において、把手部2は、その把持面21、21が櫛部11の櫛歯面13に対して90°に固定されるようになしてある。その他的主要部は、上述の図1及び図2に示される実施例と全く同様に構成されている。そして、図3及び図4に示される他の実施例の染毛料塗布用具は、図1及び図2に示される実施例と全く同様に使用されるが、上記櫛部11の上記櫛歯面13に対する上記把持面21、21の角度は、90°に固定されたままである。

【0015】更に、図5に示される本発明の更に他の実施例について説明する。この実施例において、取付部材3の両端の面には、把手部2が取り付けられるための嵌合穴33、33が形成されており、把手部2には、上記

嵌合穴33、33と嵌合する長方形断面を有する取付部材嵌合部22が突設されている。その他の主要部は、上述の図1及び図2に示される実施例と全く同様に構成されている。そして、図5に示される更に他の実施例の染毛料塗布用具は、図1及び図2に示される実施例と全く同様に使用されるが、上記取付部材嵌合部22は、上記把手部2と上記取付部材3を分離して、その尖端23を髪分け具として用いることができるようになしてある。また、図5に示される更に他の実施例の染毛料塗布用具

10 10は、上記取付部材3が染毛料収容部1の横幅内に納まるため、図1及び図2に示される実施例と比較して、取り扱いがより容易である。

【0016】本発明は上記実施例に制限されるものではなく、図1~図4に示される実施例においては、上記染毛料収容部1と上記取付部材3とは別体とされ、これらが結合された形態であるが、上記染毛料収容部1と上記取付部材3とを一体的に形成し、上記染毛料収容部1より直接上記把手部係合部31、31を突設しても良く、上記染毛料収容部1に直接上記嵌合穴33、33を形成しても良い。また、上記把手部係合部31、31又は取付部材嵌合部22を長方形断面でなく、楕円形等として、上記把手部2の上記嵌合角度が30°~90°の範囲内の所定角度で固定されるようにしても良い。また、上記把持面21、21は、その表面に滑り止め用の模様が施された平面とされているが、指の形に合わせた波状の曲面とされても良い。その他の点に関しても、本発明の趣旨を逸脱しないかぎり、便宜変更が可能である。

【0017】尚、本発明において、上記櫛部11の上記櫛歯面13に対する上記把持面21、21の角度は、30°~90°の範囲内であれば良く、実施例では30°のものと90°のものを示したが、この範囲内でも特に40°~70°の範囲とされるのが好ましい。

【0018】

【発明の効果】本発明の染毛料塗布用具は、一人で染毛する場合でも、毛髪の部位に拘わらず、容易に染毛を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の染毛料塗布用具の一実施例の外観を示す斜視図である。

40 【図2】図1におけるX-X線矢視断面図である。

【図3】本発明の染毛料塗布用具の他の実施例の外観を示す斜視図である。

【図4】図3におけるY-Y線矢視断面図である。

【図5】本発明の染毛料塗布用具の更に他の実施例の外観を示す斜視図である。

【図6】従来の染毛料塗布用具の外観を示す斜視図である。

【符号の説明】

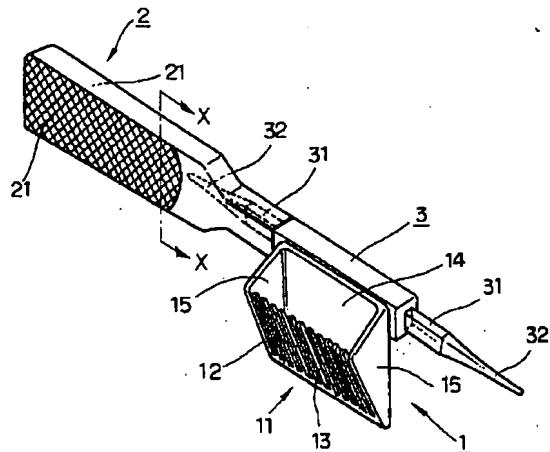
1 染毛料収容部

11 櫛部

5

- 12 櫛齒
13 櫛齒面
2 把手部

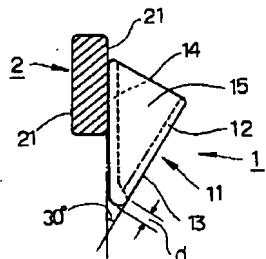
【図1】



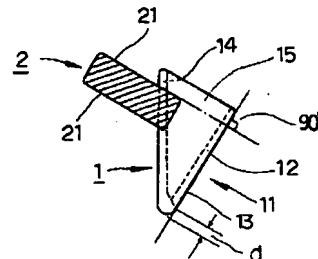
6

- 21 把持面
3 取付部材
31 把持部嵌合部

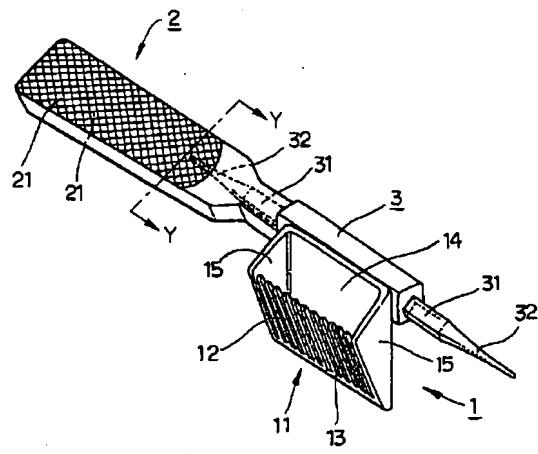
【図2】



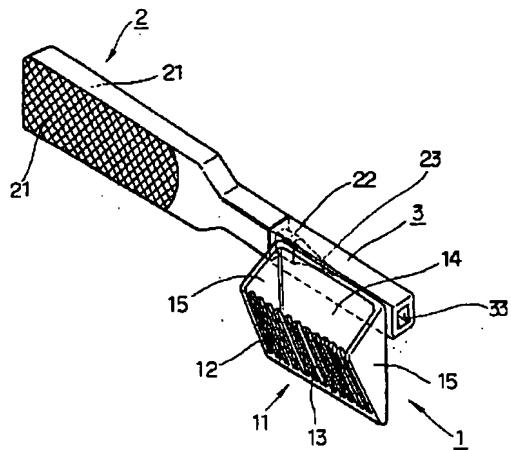
【図4】



【図3】



【図5】



【図6】

